

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

スイス・グローバル・リーダー・ファンド（為替ヘッジあり）

各ファンドは特化型運用を行います

当資料は、よくあるお問い合わせなどを記載したQ&A集です。

※当資料では「スイス・グローバル・リーダー・ファンド」および「スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)」を共に「スイスGL」と表記することがあります。

【 Q&A集：目次 】

【 1.ファンドの特徴等について 】

- 1-1.スイス株式の中長期パフォーマンスは？・・・p.3
- 1-2.スイスGLのマザーファンドとスイス株式指数とのパフォーマンスは？・・・P.3
- 1-3.組み入れ銘柄の地域別売上比率は？・・・p.4
- 1-4.新興国向けの売上比率は？・・・p.5
- 1-5.セクター比率は？・・・p.5
- 1-6.スイス国内の景気から大きな影響を受ける？・・・p.6
- 1-7.為替変動が基準価額に与える影響は？・・・p.6
- 1-8.スイスと日本の輸出企業では為替変動が企業業績に与える影響度合いが異なる？・・・p.7
- 1-9.スイス株式の配当利回りは？・・・p.7
- 1-10.スイス株式は割安？割高？・・・p.8
- 1-11.銘柄の入れ替え頻度は？・・・p.8
- 1-12.売買回転率は？・・・p.9
- 1-13.保有上位3銘柄における過去の保有比率の推移は？・・・P.9
- 1-14.スイス企業の業績推移と今後の予想は？・・・p.9
- 1-15.スイス株式と他資産の相関係数は？・・・p.10
- 1-16.為替ヘッジコストはどのくらい？・・・p.11

【 2.組み入れ銘柄について 】

- 2-1.組み入れ上位銘柄名や概要が知りたい・・・p.12
- 2-2.ネスレの企業業績と今後の予想は？・・・p.12
- 2-3.ロシュ・ホールディングスの企業業績と今後の予想は？・・・p.13
- 2-4.ノバルティスの企業業績と今後の予想は？・・・p.13

【 3.分配金について 】

- 3-1.次回ファンド決算日に分配金はどのくらい出る？・・・p.14
- 3-2.これまでの分配実績は？・・・p.14
- 3-3.分配可能原資はどこでわかる？・・・p.15
- 3-4.普通分配金なのか特別分配金なのか？・・・p.15
- 3-5.配当金を受け取った方がいいか、それとも再投資した方がいいか？・・・p.15
- 3-6.分配金はいつ発表される？・・・p.15

【 4.基準価額の変動要因分析について 】

4-1.設定来の基準価額の変動要因は？・・・p.16

【 5.ファンドの設計・構造等について 】

5-1.信託期間が短い理由は？・・・p.17

5-2.現時点で償還を検討している？・・・p.17

5-3.信託期間の延長はいつ決まるの？・・・p.17

5-4.信託期間を延長しないのはどうした場合？・・・P.17

5-5.どのくらいの純資産総額があれば運用できると考えている？・・・p.17

5-6.解約が増えることで純資産総額が減少すると基準価額も下がる？・・・p.17

5-7.信託財産留保額って何？・・・p.18

5-8.信託財産留保額があるファンドは受益者にとって不利？・・・p.18

5-9.基準価額にはいつ時点の株価や為替が反映されている？・・・p.19

5-10.為替ヘッジありと為替ヘッジなしの間でのスイッチングは可能？・・・p.19

5-11.基準価額が10,000円を大きく上回っていない理由は？・・・p.19

5-12.購入手数料は販売会社によって違うの？・・・p.19

5-13.1日あたりの信託報酬額はどのくらい？・・・P.19

5-14.ファンドの設定や解約の申し込みを受付けていない日は？・・・p.20

【 6.その他 】

6-1.代表的なスイス株式指数とは？・・・p.21

6-2.ネットでスイス株式指数の価格や為替レートを確認する方法は？・・・p.21

6-3.基準価額は何時に発表されるの？・・・p.21

6-4.日経新聞での掲載名は？・・・p.21

6-5.日経新聞以外の新聞には基準価額が掲載されていないの？・・・p.21

6-6.知りたいことがある場合はどこに問い合わせればいいのか？・・・p.22

6-7.このファンドを購入して以来、どのくらいの損益額になっているのかが知りたい・・・p.22

6-8.先月の市場動向、運用状況、今後の見通しが知りたい・・・p.22

6-9.過去に発行されたスイス関連のマーケットレポートが見たい・・・p.23

6-10.過去に発行されたスイスGLのファンドレポートが見たい・・・p.24

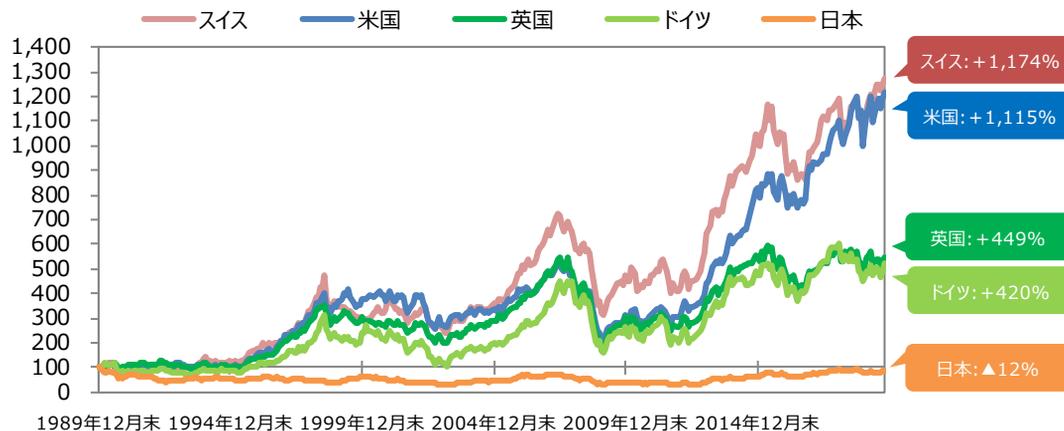
6-11.スイスGLの紹介動画が見たい・・・p.24

【 1.ファンドの特徴等について 】

1-1.スイス株式の中長期パフォーマンスは？

→スイス株式指数は中長期で堅調なパフォーマンスとなっています。

【 主要株式指数の推移(円換算ベース) 】



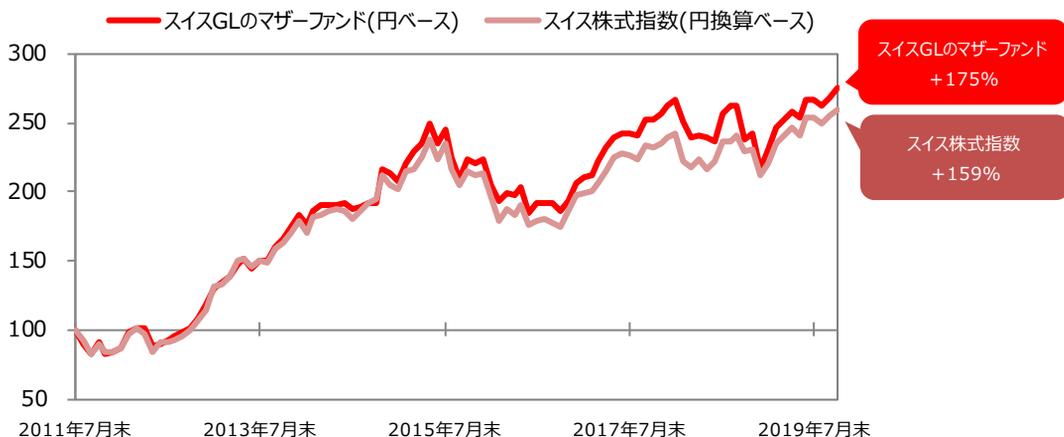
スイス株式指数の収益率は米国株式指数の収益率よりもやや高く、米国株式指数以外の株式指数の収益率を大きく上回っています。

- ・出所： Bloombergより作成
- ・期間： 1989年12月末 ~ 2019年10月末 ※1989年12月末=100として指数化
- ・スイス：SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、米国：S&P500指数、英国：FTSE100指数、ドイツ：DAX30指数、日本：TOPIX (いずれの指数も円換算のトータルリターンベース)

1-2.スイスGLのマザーファンドとスイス株式指数のパフォーマンスは？

→スイスGLが組み入れているマザーファンドの設定日である2011年7月29日以降、マザーファンドのパフォーマンスは円換算ベースのスイス株式指数のパフォーマンスを上回っています。

【 スイスGLのマザーファンド(円ベース)とスイス株式指数(円換算ベース)の推移 】



スイスGLのマザーファンドはスイス株式指数を+16%上回っています。

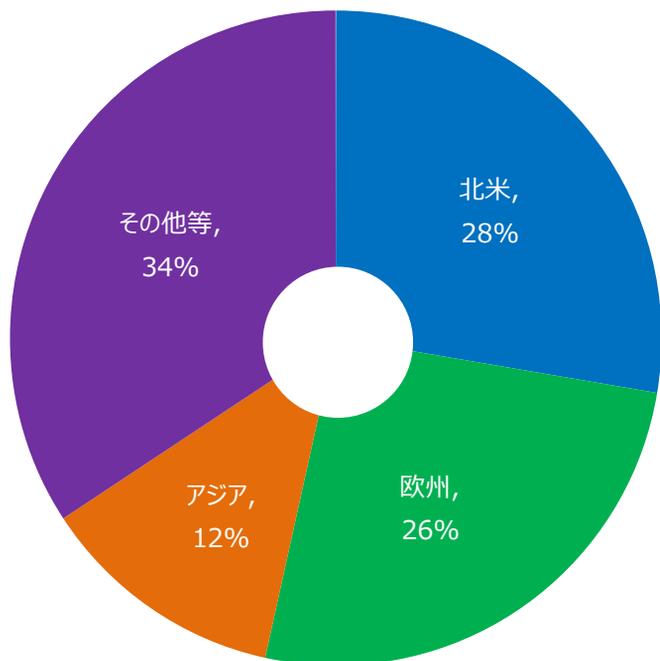
- ・出所： Bloomberg等より作成
- ・期間： 2011年7月末 ~ 2019年10月末
- ・スイスGLのマザーファンドの設定日である2011年7月末=100として指数化
- ・スイス株式指数：SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)(円換算のトータルリターンベース)

1-3.組み入れ銘柄の地域別売上比率は？

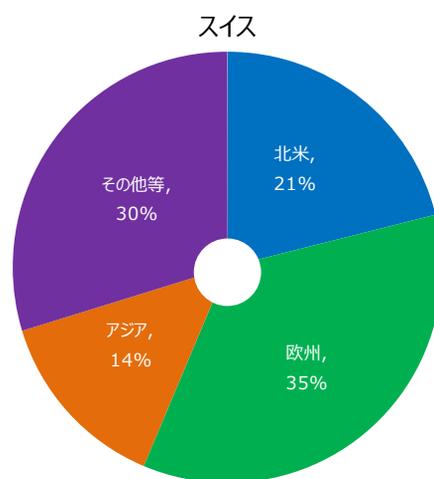
→2019年10月31日時点におけるスイスGLの地域別売上比率(簡易計算ベース)は下図の通りです。スイスGLの組み入れ銘柄は各地域から概ねバランス良く売上をあげていることが見て取れます。

【 スイスGLの地域別売上比率 】

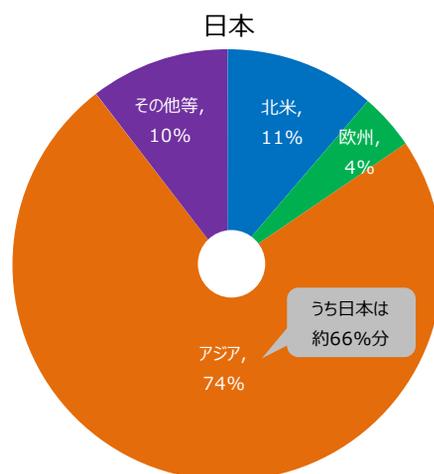
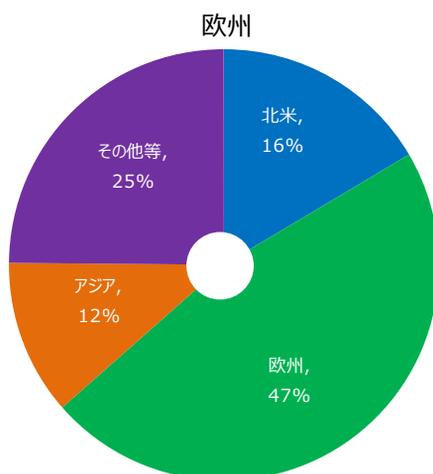
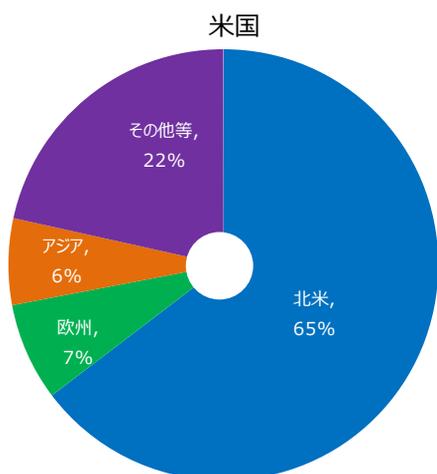
(保有比率加重平均ベース)



【 スイスの地域別売上比率 】



【 主要株式指数の地域別売上比率 】



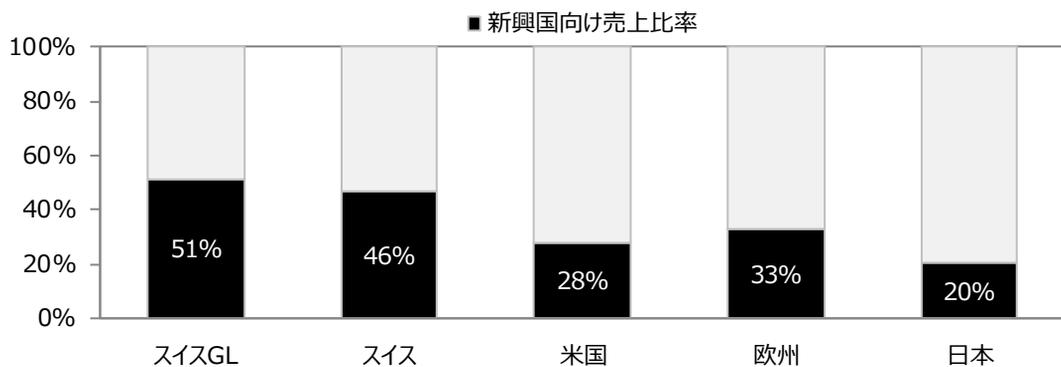
・スイス:SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、米国:S&P500指数、欧州:STOXX 欧州600指数、日本:TOPIX

※上記は、2019年10月末時点のスイス・グローバル・リーダー・ファンドの組み入れマザーファンドの構成銘柄および主要地域・国の株式指数の構成銘柄について、2019年11月27日時点でトムソン・ロイターから取得した直近決算期の売上高データを基に当社が独自に簡便的な計算方法で算出した地域別売上比率であり、実際の比率を正確に説明するものではなく、今後の比率を保証するものではありません。あくまで基準日時点の参考値としてご覧ください。※当該分類地域を一部でも含むと考えられる地域分類の売上高から比率を計算しているため、銘柄によっては当該分類地域以外の売上高が比率計算に使用されている場合があります(例えば、「Asia and Africa」という地域分類の売上高が開示されていた場合、当該売上高は上記の「アジア」と「その他等」の両方の地域売上比率の計算に使用され、新興国の売上比率の計算にも使用されます)。※比率の合計値は100%となるように調整されています。

1-4.新興国向けの売上比率は？

→2019年10月31日時点におけるスイスGLの新興国向け売上比率(簡易計算ベース)は下図の通りです。スイスGLの新興国向け売上比率は米国、欧州、日本と比較して高く、高成長が期待される新興国からの恩恵をより享受することが期待できます。

【 新興国向け売上比率 】



スイスGLの保有により、先進国企業への投資で新興国の成長も享受することが期待できます。

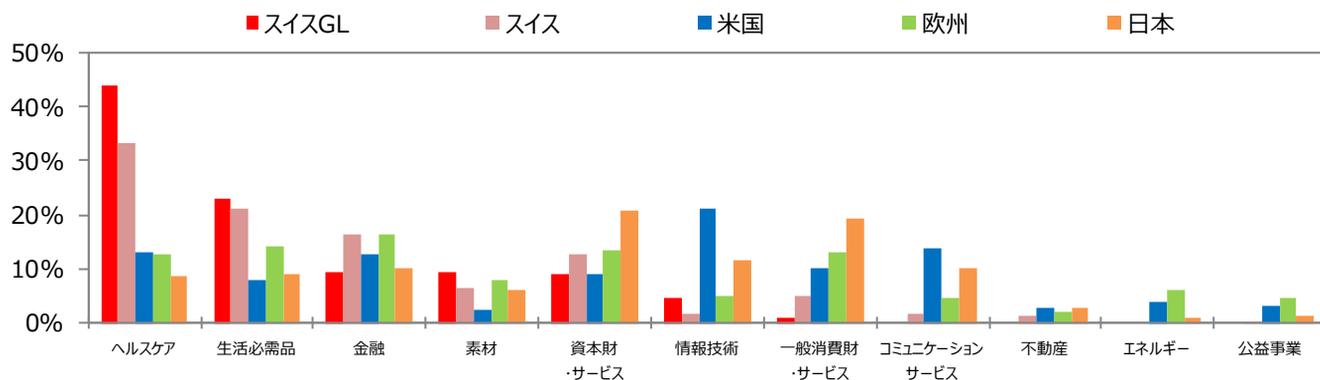
・スイス:SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、米国:S&P500指数、欧州:EURO STOXX欧州600指数、日本:TOPIX
・新興国はOECD加盟国以外の国としています。

※上記は、2019年10月末時点のスイス・グローバル・リーダー・ファンドの組み入れマザーファンドの構成銘柄および主要地域・国の株式指数の構成銘柄について、2019年11月27日時点でトムソン・ロイターから取得した直近決算期の売上高データを基に当社が独自に簡便的な計算方法で算出した新興国売上比率であり、実際の比率を正確に説明するものではなく、今後の比率を保証するものではありません。あくまで基準日時点の参考値としてご覧ください。※当該分類地域を一部でも含むと考えられる地域分類の売上高から比率を計算しているため、銘柄によっては当該分類地域以外の売上高が比率計算に使用されている場合があります。※スイスGLのマザーファンドでは保有比率加重平均ベースとなっています。

1-5.セクター比率は？

→2019年10月31日時点におけるスイスGLのセクター比率は下図の通りです。スイスGLはスイス、米国、欧州、日本の株式指数と比較して、景気に大きく左右されにくいと言われるヘルスケアや生活必需品といったディフェンシブセクターの比率が高いことが特徴です。

【 セクター比率 】



・出所：Bloombergより作成

・基準日：2019年10月31日

・スイス:SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、米国:S&P500指数、欧州:欧州STOXX600指数、日本:TOPIX

※スイスGLは組み入れマザーファンドの基準日における保有銘柄のGICSセクターや保有比率を基にセクター比率を算出し、各株式指数は基準日における各構成銘柄のGICSセクターや時価総額を基にセクター比率を算出しています。

1-6. スイス国内の景気から大きな影響を受ける？

→「1-3. 組み入れ銘柄の地域別売上比率は？」(p.4)でご覧頂いた通り、欧州からの売上比率は26%程度であり、その中でスイス国内での売上は更に限定的であるため、スイス国内の景気からの直接的な影響は大きくないと思われます。当ファンドは特定地域からではなく、世界経済全体からの影響を受けることが特徴です。

1-7. 為替変動が基準価額に与える影響は？

→スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)では為替ヘッジを行ってスイスフラン/円の為替変動が基準価額に与える影響を低減する運用を行っていますが、為替ヘッジを行っていないスイス・グローバル・リーダー・ファンドではスイスフラン/円の為替変動によって基準価額が変動します。

しかしながら、為替ヘッジを行ってなくとも、下記に記載の通り、基準価額に与える影響はある程度相殺されることが期待されます。

<スイスフランが日本円等の他通貨に対して安くなった場合>

- ① スイス国外で稼いだ利益を決算期末にスイスフランに換算した場合の利益額が増加 ⇒ **株価の上昇要因**
- ② スイスGLがスイスフラン建てで保有しているスイス株式を円換算した場合の価値が減少 ⇒ **基準価額の下落要因**

↓
基準価額はやや下落

<スイスフランが日本円等の他通貨に対して高くなった場合>

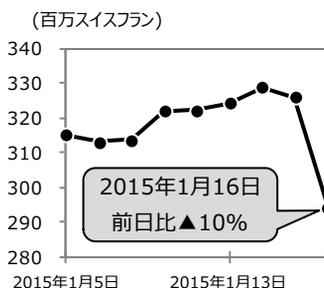
- ① スイス国外で稼いだ利益を決算期末にスイスフランに換算した場合の利益額が減少 ⇒ **株価の下落要因**
- ② スイスGLがスイスフラン建てで保有しているスイス株式を円換算した場合の価値が増加 ⇒ **基準価額の上昇要因**

↓
基準価額はやや上昇

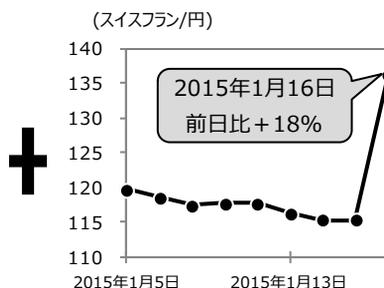
上記は当資料作成時点での情報を基に簡便的に解説したイメージあり、全てを正確に説明したものではありません。

たとえば、2015年1月16日にスイスフランが他通貨に対して大きく上昇した際、現地通貨ベースでのスイス株式価格は大きく下落しましたが、円換算価値の増加によってスイスGLの基準価額はやや上昇しました。

【 スイス株式 】



【 スイス/円 】



【 基準価額 】



・出所: Bloomberg等より作成

・期間: 2015年1月5日 ~ 2015年1月16日

・スイス株式の日付は当該値が基準価額に反映されるベース

・スイス株式はスイスGLのマザーファンドにおける保有銘柄の時価合計(保有株式数は2015年1月5日時点、スイスフランベース)

基準価額が常に上記のように動くわけではなく、為替変動からの影響を理解するための一例です。

1-8. スイスと日本の輸出企業では為替変動が企業業績に与える影響度合いが異なる？

→国内で生産した製品を海外で売る場合と現地で生産した製品を現地で売る場合では、為替変動が企業業績に与える影響は大きく異なります。

たとえば、国内で生産した製品を海外で売る場合、主な製造コストが自国通貨で売価は現地通貨となるため、国内通貨が上昇した場合にはコストは大きく変わらないものの換算売上額を維持するためには売価を引き上げる必要があります。そのため、売価を引き上げたことに伴う価格競争力の低下による売上の減少、または売価を維持したことに伴う自国通貨に換算した利益の減少が発生することになります。その結果、たとえば10%の自国通貨高で利益が全てなくなるということもありません。

一方、現地で生産した製品を現地で売る場合、主な製造コストと売価の両方が現地通貨となるため、自国通貨が上昇した場合の影響は海外で稼いだ利益を自国通貨に換算した場合の目減り程度になります。そのため、例えば10%の通貨高であれば利益の10%程度が減少することとまることになります。

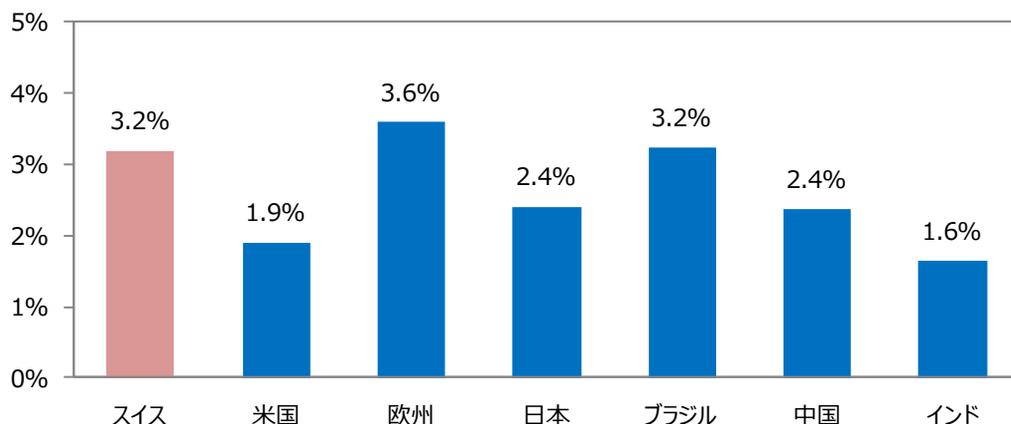
スイス企業は日本企業に比べて海外で稼ぐ比率が高いですが、現地で生産して現地で販売している比率も高いため、日本企業と比べて為替変動が企業業績に与える影響は比較的小さいと考えられます。

上記は当資料作成時点での情報を基に簡便的に解説したイメージあり、全てを説明したものではありません。

1-9. スイス株式の配当利回りは？

→スイス株式指数の予想配当利回りは下図の通りです。

【 主要株式指数の予想配当利回り 】



スイス株式指数の予想配当利回りは米国株式指数や日本株式指数に比べては高く、欧州株式指数とほぼ同水準となっています。

・出所：リフィニティブより作成（予想配当利回りは 2019年10月31日 時点のFY1予想DPSに基づいて算出）

・基準日：2019年10月31日

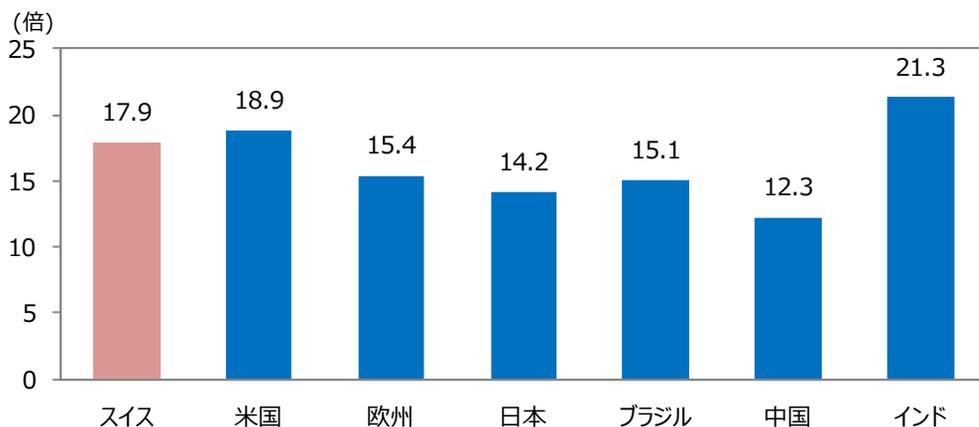
・スイス：SMI(スイス・マーケット・インデックス)、米国：S&P500指数、欧州：欧州STOXX600指数、日本：TOPIX、ブラジル：MSCI BRAZIL、中国：MSCI CHINA、インド：MSCI INDIA

1-10. スイス株式は割安？割高？

→一般的に割安度を示すと言われているPER(株価収益率: 株価÷1株あたり利益で計算され、値が小さいほど割安であることを示します)は下記の通りです。

スイス株式のパフォーマンスは長期に渡って概ね堅調ですが、高い成長性等により、割安度は他株式から大きく見劣りする水準とはなっていないと言えます。

【 主要株式指数のPER 】



スイスのPERは日本に比べるとやや高いですが、米国に比べるとやや低くなっています。

・出所: リフィニティブより作成 (PERは 2019年10月31日 時点のFY1予想EPSに基づいて算出)

・基準日: 2019年10月31日

・スイス: SMI(スイス・マーケット・インデックス)、米国: S&P500指数、欧州: 欧州STOXX600指数、日本: TOPIX、ブラジル: MSCI BRAZIL、中国: MSCI CHINA、インド: MSCI INDIA

1-11. 銘柄の入れ替え頻度は？

→スイスGLはスイス証券取引所に上場する銘柄(約240銘柄)のうち、世界No.1のリーディングカンパニー*である約80銘柄から20~40銘柄に集中投資を行うファンドであり、銘柄の見直しや保有比率の調整等は随時実施しているものの、過去には頻繁な銘柄入れ替えは行っていません。

設定日翌月末以降の99ヶ月において、月末基準ベースで新規に購入した銘柄は1ヶ月平均で0.7銘柄、保有株数を全て売却した銘柄は1ヶ月平均で0.7銘柄となっています。

【ご参考】

【 2019年に新規購入した銘柄 】

・ピフォー・ファーマ、アルコン、ラファージュホルシム、バリーカレポー

【 2019年に全部売却した銘柄 】

・UBSグループ、SFSグループ、ABB、OCエリコン、SGS、フィナンシエール・リシュモン、AMS、ラファージュ・ホルシム

*「世界No.1のリーディングカンパニー」とは「ユニオン バンケール プリヴェ ユービービー エスエー」による調査・分析の結果、特定の分野で売上高等がトップシェアを有すると認められる企業を指します。ユニバースは状況に応じて変わります。また、ユニバースは全ての世界シェアNo.1のスイス企業を網羅しているわけではありません。

記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

1-12. 売買回転率は？

→過去1年間(2018年11月～2019年10月)における保有スイス株銘柄の売買回転率は23%でした(平均すると概ね5年間は同一銘柄を保有する計算になります)。

相場環境や見通し等にもよりますが、当ファンドでは比較的中長期間保有する傾向にあります。

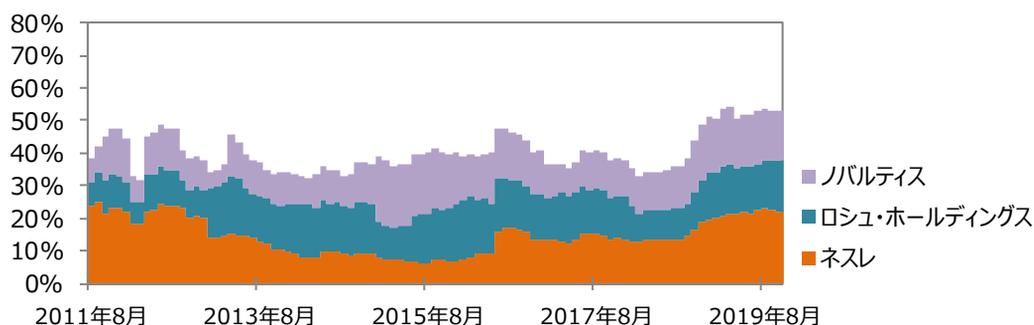
※売買回転率はマザーファンドベースとなっています。

※計算式・・・過去1年間における購入総額と売却総額のうち小さい方／過去1年間の純資産総額の平均

1-13. 保有上位3銘柄における過去の保有比率の推移は？

→2019年10月31日時点における保有上位3銘柄の保有比率の推移は下図の通りです。

【 保有上位3銘柄の保有比率の推移 】



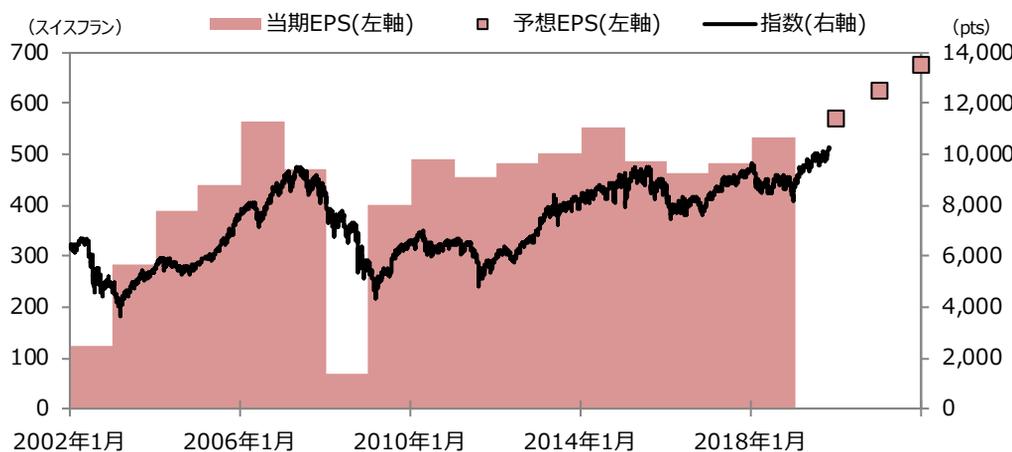
・期間： 2011年8月 ～ 2019年10月 (月末時点)

株価動向、見通し等によって変動はありますが、概ね安定していることが見てとれます。

1-14. スイス企業の業績推移と今後の予想は？

→スイス企業のEPS(1株あたり利益)や株価の推移は下図の通りです。

【 スイス株式指数のEPSと株価の推移 】



・出所：リフィニティブより作成

・期間(指数)： 2002年1月1日 ～ 2019年10月31日

・期間(当期EPS)： 2002年度 ～ 2018年度

(当期EPSは暦年化したFY0予想の加重平均値≒実績EPS(ロールオーバー直前値)、週次データ)

・2019年度以降の予想EPSは 2019年10月31日 時点の予想値 (I/B/E/S集計)

※指数やEPSはスイス株式指数のSMI(スイス・マーケット・インデックス)ベースとなっています。

スイス株式指数における、今期、来期、再来期の予想EPS成長率は、+7%、+9%、+8%となっています。

1-15. スイス株式と他資産の相関係数は？

→スイス株式と他資産の相関係数は下表の通りです。

相関係数とは2資産の関係を示す指標で、▲1～1の間の数字で示されます。

資産Aと資産Bの相関係数が1.0であるということは資産Aが10%上昇したときに資産Bも10%上昇するような関係性、相関係数が▲1.0であるということは資産Aが10%上昇したときに資産Bは10%下落するような関係性を示します。相関係数が0であるときは両者の間に関係性がないこと(無相関)を示します。

相関係数が低いほど、両者を保有することで分散効果が効きやすくなり、保有資産のリスク低減効果が期待できます。

現地通貨ベースでの相関係数は下記の通りです。

日本株式	米国株式	欧州株式	インド株式	トルコ株式	中国株式
0.58	0.70	0.77	0.32	0.24	0.30

グローバルREIT	米国REIT	J-REIT
0.47	0.43	0.32

世界債券	日本債券	オーストラリア債券	米国 ハイイールド債券	欧州 ハイイールド債券	アジア ハイイールド債券
▲0.12	▲0.18	▲0.27	0.57	0.57	0.37

円換算ベースでの相関係数は下記の通りです。

日本株式	米国株式	欧州株式	インド株式	トルコ株式	中国株式
0.76	0.84	0.92	0.66	0.46	0.54

グローバルREIT	米国REIT	J-REIT
0.78	0.74	0.42

世界債券	日本債券	オーストラリア債券	米国 ハイイールド債券	欧州 ハイイールド債券	アジア ハイイールド債券
0.51	▲0.29	0.73	0.80	0.84	0.78

・出所: Bloombergより作成

・計測期間: 2010年1月 ~ 2019年10月

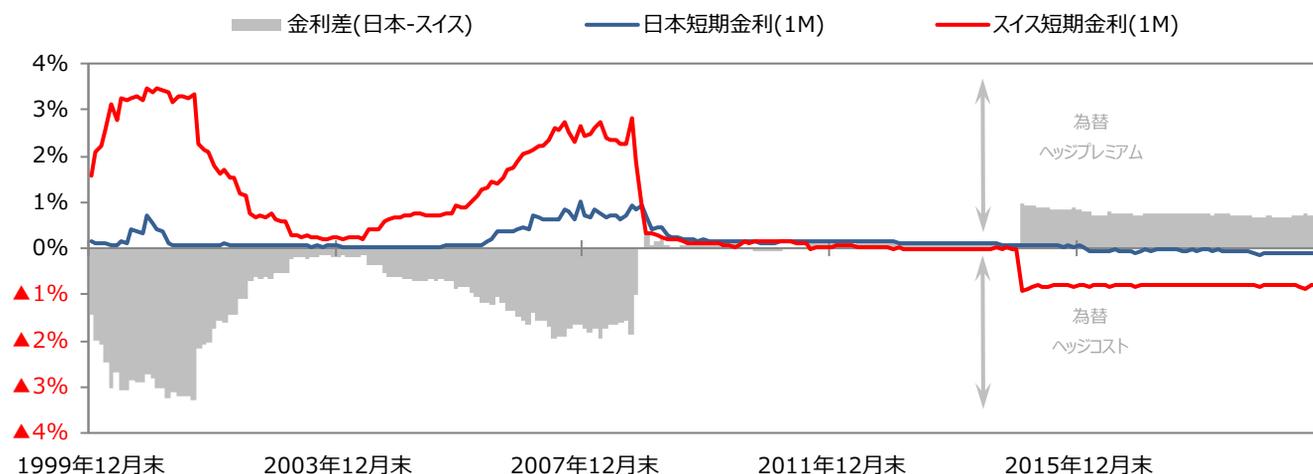
・スイス株式:SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、日本株式:TOPIX(配当込み)、米国株式:S&P500指数(TR)、欧州株式:欧州STOXX600指数(TR)、インド株式:SENSEX指数(TR)、トルコ株式:イスタンブール100種指数、中国株式:中国上海総合指数、グローバルREIT:S&P Global REIT USD Total Return Index、米国REIT:FTSE NAREIT Equity REITs Total Return Index USD、J-REIT:東証REIT(配当込み)、世界債券:FTSE Non-JPY WGBI LCL、日本債券:BPI Total Index、オーストラリア債券:FTSE Australia GBI LCL、米国ハイイールド債券:ICE BofAML・USハイイールド・マスターII・コンストレインド・インデックス、欧州ハイイールド債券:ICE BofAMLヨーロッパ・カレンシー・ハイイールド・コンストレインド・インデックス、アジアハイイールド債券:JPモルガン・アジア・クレジット・インデックス(B B格以下・社債)

1-16. 為替ヘッジコストはどのくらい？

スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)のみに該当

→現在はスイスの短期金利が日本の短期金よりも低いため、為替ヘッジによるプレミアムの獲得が期待できる状況となっています(2019年10月31日時点：0.68%)。

【 スイスと日本の短期金利と為替ヘッジコストの推移 】



・出所： Bloombergより作成

・期間： 1999年12月末 ～ 2019年10月末

※上図は、あくまでも簡便法*によって算出された試算値であり、実際の値とは必ずしも一致しません。

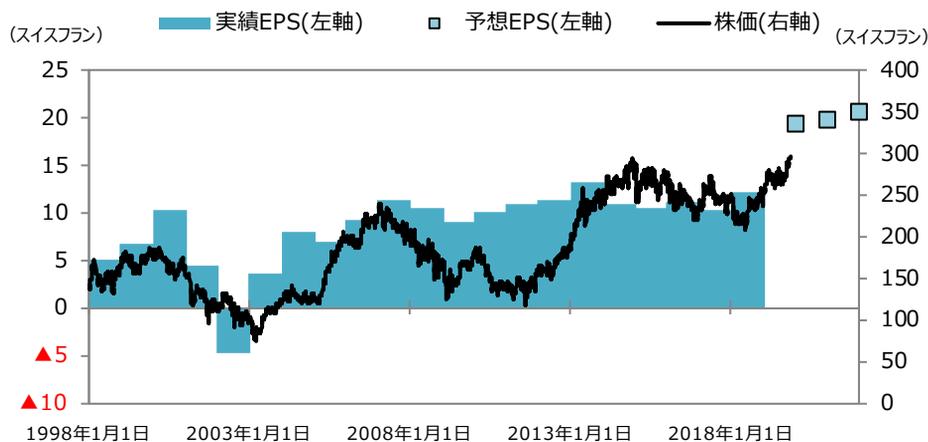
*簡便法は、為替取引によるプレミアム/コストを、(日本円の短期金利) - (スイスフランの短期金利)で算出する方法です。ただし、当該通貨に対する市場参加者の期待や需給等により、その取引価格に反映する為替取引によるプレミアム/コストは、金利差から理論上期待される水準と大きく異なる場合があります。

※短期金利: 1ヵ月LIBOR

2-3.ロシュ・ホールディングスの企業業績と今後の予想は？

→EPS(1株あたり利益)や株価の推移は下図の通りです。

【 ロシュ・ホールディングスのEPSと株価の推移 】



今期、来期、再来期の
予想EPS成長率は、
+58%、+3%、+4%
となっています。

・出所：リフィニティブより作成

・期間(株価)： 1998年1月1日 ~ 2019年10月31日

・期間(実績EPS)： 1998年度 ~ 2018年度

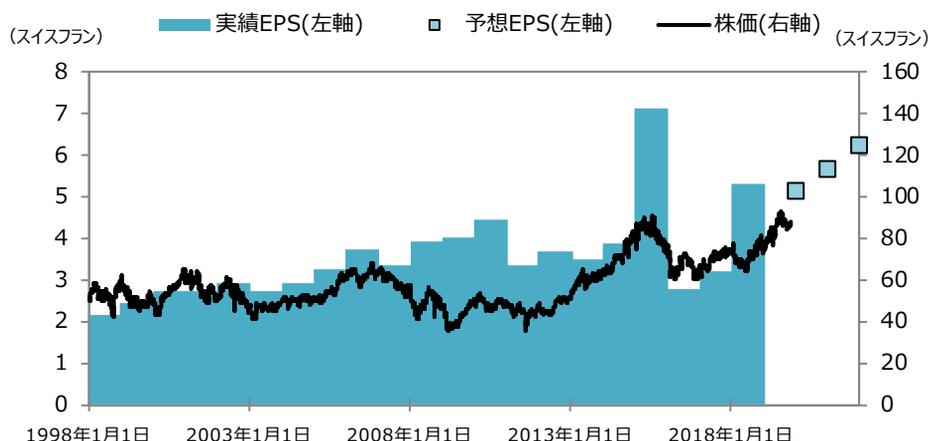
※2019年度以降の予想EPSは 2019年10月31日 時点の予想値 (I/B/E/S集計)

記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

2-4.ノバルティスの企業業績と今後の予想は？

→EPS(1株あたり利益)や株価の推移は下図の通りです。

【 ノバルティスのEPSと株価の推移 】



今期、来期、再来期の
予想EPS成長率は、
▲3%、+10%、
+10%となっています。

・出所：リフィニティブより作成

・期間(株価)： 1998年1月1日 ~ 2019年10月31日

・期間(実績EPS)： 1998年度 ~ 2018年度

※2019年度以降の予想EPSは 2019年10月31日 時点の予想値 (I/B/E/S集計)

記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

【 3.分配金について 】

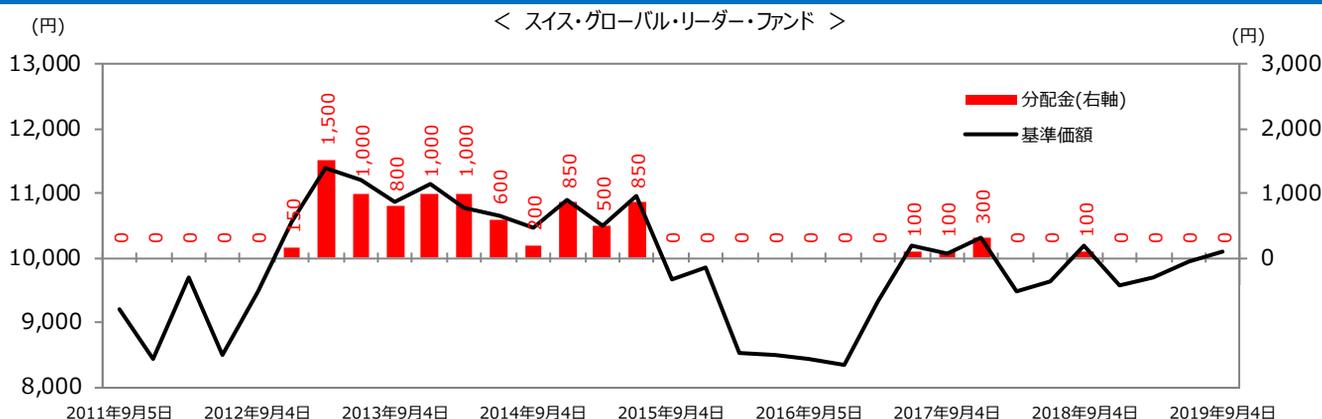
3-1.次回ファンド決算日に分配金はどのくらい出る？

→スイスGLでは、決算期におけるファンドの運用成果をもとに分配を行うことを目指しており、決算日の基準価額が確定するまでは分配金は決まりません。

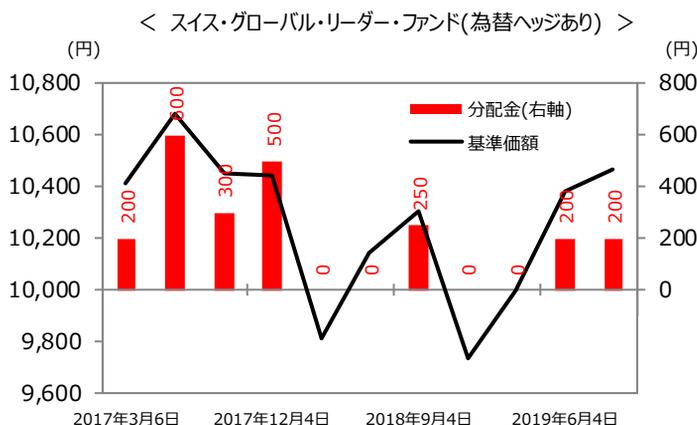
※上記はあらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。各決算日にかけて基準価額が急激に変動した場合等には、委託会社の判断で分配が行われない場合があります。収益分配金額は、委託会社が分配方針に基づいて決定します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、また必ず分配を行うものではありません。

3-2.これまでの分配実績は？

【 設定来の分配金実績 】



- ・期間(スイス・グローバル・リーダー・ファンド):
2011年9月5日 ～ 2019年9月4日
- ・期間(スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)):
2017年3月6日 ～ 2019年9月4日
- ・基準日: 2019年9月4日
- ・直近決算日: 2019年9月4日
- ・設定来の累計分配実績:
スイス・グローバル・リーダー・ファンド: 9,050円
スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり): 2,250円
- ・次回決算日: 2019年12月4日
- ・スイスGLの決算日は、原則として3・6・9・12月の各4日
(休業日の場合は翌営業日)



3-3.分配可能原資はどこでわかる？

→年に2回発行している「交付運用報告書」および「運用報告書(全体版)」において、各決算日時点の分配可能原資を翌期繰越分配対象額として記載しています。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第31期	第32期
	2018.12.5~2019.3.4	2019.3.5~2019.6.4
当期分配金	-	-
(対基準価額比率)	-%	-%
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	115	253

スイス・グローバル・リーダー・ファンドにおいては、2019年6月4日における翌期繰越分配対象額は253円となっています(分配金のお支払い後)。

スイスGLでは決算期におけるファンドの運用成果をもとに分配を行うことを目指しており、分配可能原資の全てを配当金に充てるわけではありません。

3-4.普通分配金なのか特別分配金なのか？

→スイスGLから受け取った分配金が、税金のかかる普通分配金*1であるのか、税金のかからない特別分配金*2であるのかは、受益者の皆様ご購入された時期等によって異なります。

詳細については、お手数ですがスイスGLをご購入された販売会社様にお問い合わせください。

*1普通分配金とは、分配金が支払われた際、分配落ち後の基準価額が個別元本(※)と同額または上回る場合をいい、全額が所得税、住民税の対象となります。

*2特別分配金(元本払戻金)とは、分配金が支払われた際、分配落ち後の基準価額が個別元本(※)を下回る部分に相当する金額をいい(残余の部分は普通分配金)、非課税となります。

(※)個別元本とは、追加型株式投資信託において、受益者の皆様保有されているファンドの取得時の平均投資元本で、解約・償還時の税額計算の基礎となります。同一ファンドを同一預り区分で複数回購入した場合は、そのつど個別元本の計算(加重平均による再計算)が行われます。また特別分配金(元本払戻金)を受け取った場合にも調整されます。

3-5.分配金を受け取った方がいいか、それとも再投資した方がいいか？

→スイスGLからの配当金を再投資した場合、その後のトータルリターン(分配金を加味した基準価額の変動率)がプラスであれば、再投資した分配金からの複利効果により、分配金を受け取った場合に比べて評価益額が大きくなる傾向にあります。

例えば、スイス・グローバル・リーダー・ファンドを設定日(2011年9月30日)に100万円投資して2019年10月31日まで保有していた場合、分配金を受け取っていただければ合計損益額(評価損益額+受け取り分配金の合計)は+約96万円ですが、分配金を再投資していた場合は+約135万円となっています。また、スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)を設定日(2016年12月21日)に100万円投資して2019年10月31日まで保有していた場合、分配金を受け取っていただければ合計損益額(評価損益額+受け取り分配金の合計)は+約30万円ですが、分配金を再投資していた場合は+約32万円となっています。

※諸経費、分配金の税金、売却時の税金等は考慮していませんので、実際の損益額とは異なる場合があります。また、分配金再投資後のトータルリターンがマイナスであれば、分配金を受け取っていた場合より合計損益額が少なくなる場合もあります。

3-6.分配金はいつ発表される？

→スイスGLの分配金は、決算日の午後6:00頃に基準価額と共に当社HPへ掲載されます。

※早ければ午後5:00過ぎに発表できる場合もありますが、遅ければ午後8:30頃になる場合もあります。

【 4.基準価額の変動要因分析について 】

4-1.設定来の基準価額の変動要因は？

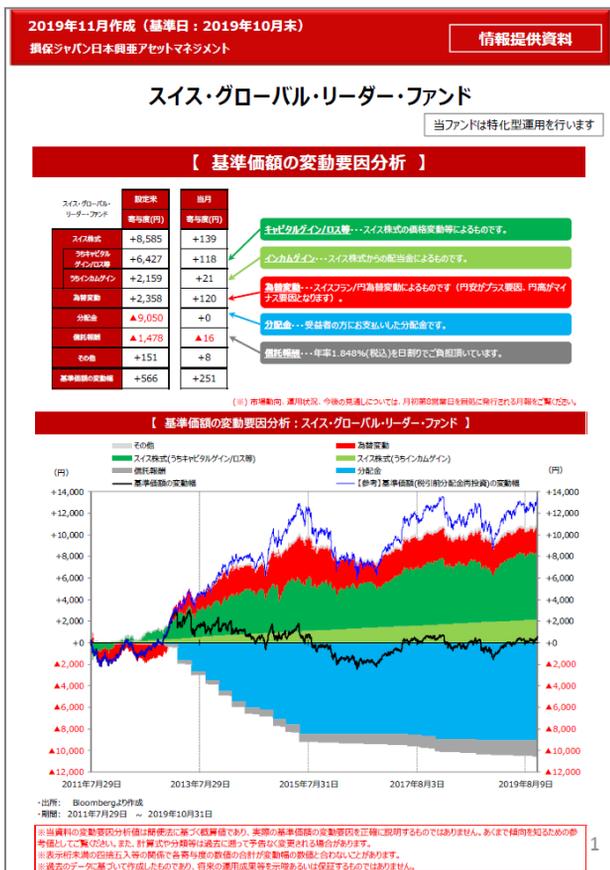
→毎月第1営業日目の夕方頃を目処として、当社HPにスイスGLの前月末時点の基準価額についての変動要因レポートを掲載しています。



当社HP(https://www.sjnk-am.co.jp/)から、「ファンド情報」→「基準価額一覧」より、「スイス・グローバル・リーダー」または「スイス・グローバル・リーダー（為替ヘッジあり）」をクリックして各ファンドページに移動。

こちらをクリックすると、直近の要因分析レポートがダウンロードできます。

下記は分配金のお支払い後の基準価額における要因分析レポートの一部です。当要因分析レポートでは税引前分配金を再投資したベースの基準価額の要因分析についても掲載しています。



上記は当資料作成時点での情報を基に作成したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

【 5.ファンドの設計・構造等について 】

5-1.信託期間が短い理由は？

→当社が設定する公募ファンドについては、多くの場合、信託期間を5年と設定して延長していくことにしています。そのため、スイスGLについても信託期間が5年未満となっていますが、純資産総額の減少によって運用を続けることが困難な状況になった場合や受益者の皆様に不利益となる状況となったことが判明した場合等を除き、信託期間を延長していくことを考えています。

5-2.現時点で償還を検討している？

→現時点で満期償還または繰り上げ償還を検討してはいません。

5-3.信託期間の延長はいつ決まるの？

→信託期間を延長する場合、少なくとも信託期間満了日の3ヶ月前までに当社HPへその旨を開示しています。最近では1年半～半年前に信託期間を延長することを開示するケースが多くなっています。

5-4.信託期間を延長しないのはどういう場合？

→なるべく信託期間を延長していきたいと考えていますが、純資産総額の減少によって運用を続けることが困難な状況になった場合や受益者の皆様に不利益となる状況となることが予想されることが判明した場合等は、信託期間を延長せずに満期償還または繰り上げ償還を検討することになります。

5-5.どのくらいの純資産総額があれば運用できると考えている？

→運用環境、運用状況等にもよりますが、現時点ではスイス・グローバル・リーダー・ファンドとスイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)の純資産総額の合計額が少なくとも10億円以上あれば運用に問題はないと考えています。

2019年10月31日現在、スイス・グローバル・リーダー・ファンドとスイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)との合計で170億円以上の純資産総額があるため、当面は運用に支障をきたすことはないと考えています。

5-6.解約が増えることで純資産総額が減少すると基準価額も下がる？

→スイスGLの発行口数は決まっておらず、株式のように需給バランスによって基準価額が変動するわけではありません。基準価額は組み入れている資産の値動きや為替変動等によって決まるため、スイスGLの解約が進むことで純資産総額が減少している場合においても、それが直接的に基準価額の下落につながることはありません。

また、スイスGLでは解約時に信託財産留保額(0.3%)を設定することで、解約に対応するためにスイス株式を売却することによるスイス株式の需給軟化へ備えており、解約が増えることによる基準価額への影響ほとんどないと考えています。

5-7.信託財産留保額って何？

→解約を受け付けた際に、信託財産留保額として基準価額の0.3%が差し引かれます。この信託財産留保額は販売会社様や運用会社が受け取るものではなく、引き続きスイスGLを保有し続ける受益者の皆様に迷惑がかからないようにするためにファンドに還元する費用です。

解約する受益者の皆様に解約代金を支払うためには、ファンドが保有する資産を売却する必要があり、そのためには売買等のコストがかかります。解約することによって発生するコストであるため、解約する受益者の皆様に負担してもらう仕組みになっています。

5-8.信託財産留保額があるファンドは受益者にとって不利？

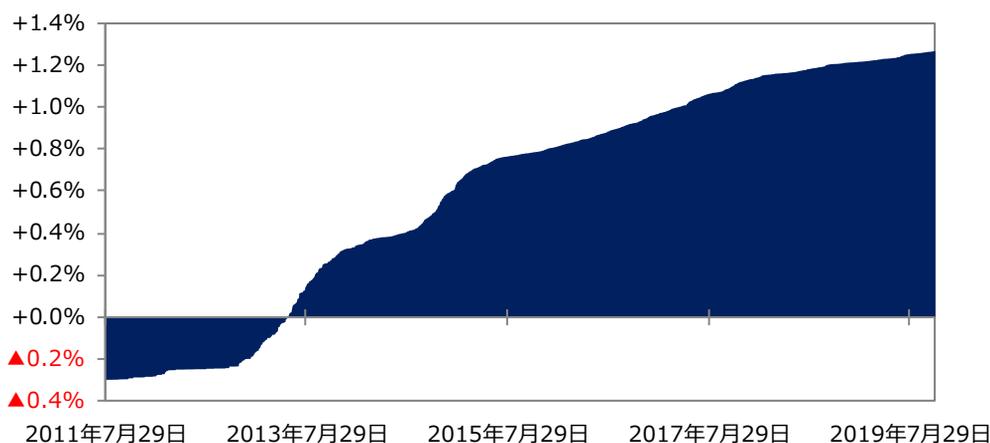
→ファンドの中には、解約時に信託財産留保額がかかるものがあればかからないものもあり、スイスGLでは信託財産留保額を0.3%に設定しています。

解約が多いファンドほど解約を行った受益者の皆様からの信託財産留保額がファンドに溜まっていくため、ご自身が解約を行って信託財産留保額を支払った場合においても、受け取っていた信託財産留保額の方が多かったことがあります。ファンドを長期間保有した受益者の方ほど、支払う信託財産留保額よりも受け取っていた信託財産留保額の方が多いという可能性が高まる傾向にあります。

たとえば、スイス・グローバル・リーダー・ファンドを設定日(2011年7月29日)に購入していた場合、下記の通り、2年弱の保有で支払う信託財産留保額よりも受け取っていた信託財産留保額が多くなりました。

また、2019年10月31日まで保有していれば、信託財産留保額が設定されていなかった場合に比べて、解約時の基準価額が約1.2%大きいということになっていました。

【 信託財産留保額があったことによる受け取り金額の違い 】



過去においては、信託財産留保額が設定されていることにより、長期保有すればするほど、信託財産留保額が設定されていなかった場合と比較して、売却時の受け取り金額が多くなる傾向がありました。

・期間：2011年7月29日～2019年10月31日

※途中解約による信託財産留保額支払後ベース、税引前受取金額における比率

※信託財産留保額の積み上がりは、他の受益者の方々がどれほど解約されたかに依存します。上記は過去の実績に基づいて当社が簡易的な方法で計算した結果であり、今後の見通しを示唆あるいは保証するものではありません。

5-9. 基準価額にはいつ時点の株価や為替が反映されている？

→原則として、組み入れ銘柄の株価は基準日の前営業日の終値、為替は投資信託協会が発表している日本時間で当日午前10:00の為替レート(TTM)が反映されています。

たとえば、2019年10月31日の夕方に発表される基準価額は、株価がスイスでの2019年10月30日の終値、為替は日本時間2019年10月31日午前10:00の為替レートが反映されています。

5-10. 為替ヘッジありと為替ヘッジなしの間でのスイッチングは可能？

→為替ヘッジを行っていないスイス・グローバル・リーダー・ファンドとスイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)の間でのスイッチング可否は販売会社様によって異なりますので、お手数ですが販売会社様にお問い合わせください。

5-11. 基準価額が10,000円を大きく上回っていない理由は？

→スイスGLでは、基準価額が10,000円を上回る部分の大半を決算日に分配金としてお支払いしています。そのため、基準価額が10,000円を大きく上回る状態が続くことはあまりありません(前掲「3-1. 次回ファンド決算日に分配金はどのくらい出る？」(p.14)をご参照ください)。

2019年10月31日時点のスイス・グローバル・リーダー・ファンドの基準価額は10,566円程度ですが、分配金を支払っていなかった場合の基準価額は23,400円程度になっています。



当社HPより抜粋。
赤色折れ線が分配金をお支払いした後の基準価額、青色折れ線がトータルリターンを示す税引前分配金再投資ベースの基準価額です。

(左記は2019年11月27日時点)

5-12. 購入手数料は販売会社によって違うの？

→当社では購入手数料の上限のみを決めています(税込み:3.85%)。販売会社様によって購入手数料が異なることがありますので、お手数ですが販売会社様にお問い合わせください。

5-13. 1日あたりの信託報酬額はどのくらい？

→スイスGLファンドの信託報酬は税込み年率1.848%であり、基準価額が10,000円であるとすると、1日あたりでは0.5円程度となります。

5-14.ファンドの設定や解約の申し込みを受付けていない日は？

→スイス証券取引所の休業日においては、設定や解約のお申し込みを受け付けていません。

2019年のお申し込み不可日は下記の通りです。

4月19日(金)	Good Friday
4月22日(月)	Easter Monday
5月 1日(水)	Labour Day
5月30日(木)	Ascension Day
6月10日(月)	Whitmonday
8月 1日(木)	National Day
12月24日(火)	Christmas Eve
12月25日(水)	Christmas
12月26日(木)	St. Stephen's Day

※上記は2019年11月27日時点において知りうる暦によるものであり、祝祭日等に変更があった場合は、変更となる場合があります。

【 6.その他 】

6-1.代表的なスイス株式指数とは？

→代表的なスイス株式指数として、SPI(スイス・パフォーマンス・インデックス)、SMI(スイス・マーケット・インデックス)などがあります。

・SPIは電子取引システムで取引されるスイス企業株約300銘柄からなるトータルリターン指数で、1987年6月1日を基準日とし、その日の時価総額を1000として算出されています。

・SMIは電子取引システム上場の時価総額および流動性が最も高い銘柄(2018年9月28日時点で20銘柄)で構成される時価総額加重平均指数で、指数値計算には浮動株が使用されています。1988年6月30日を基準日とし、その日の時価総額を1500として算出されています。

スイスGLではベンチマークを設定していないものの、SPIを参考指標としています。ただし、SPIでは予想EPS(一株あたり利益)などが取得できないことがあるため、その場合はSMIを参考指標とすることもあります。

6-2.ネットでスイス株式指数の価格や為替レートを確認する方法は？

→スイス株式指数の価格はBloomberg社のHP、為替レートはみずほ銀行のHPで確認することができます。

SPI ……<https://www.bloomberg.co.jp/quote/SPI:IND>
 SMI ……<https://www.bloomberg.co.jp/quote/SMI:IND>
 為替レート ……<https://www.mizuhobank.co.jp/rate/market/quote/index.html>

※スイスGLで使用する為替レートは投資信託協会が発表している日本時間で当日AM10:00の為替レート(TTM)であり、為替相場が大きく動いている場合等においては、上記の為替レートと異なることがあります。

6-3.基準価額是何時に発表されるの？

→スイスGLの基準価額は、午後6:00頃に当社HPへ掲載されます。

※早ければ午後5:00過ぎに発表される場合もありますが、遅ければ午後8:30頃になる場合もあります。

6-4.日経新聞での掲載名は？

→日経新聞での掲載名は下記の通りです。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド ……「スイス株」
 スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり) ……「スイス株あり」

※日経新聞以外の新聞においては4文字以内の名称しか掲載されないため、上記の掲載名とは異なることがあります。

6-5.日経新聞以外の新聞には基準価額が掲載されていないの？

→日経新聞以外においては、共同通信社で計算した純資産総額上位200または上位300ファンドの基準価額のみが掲載されており、現時点においてはスイスGLの基準価額は掲載されていません。

※共同通信社では毎年3・6・9・12月末基準でその翌月に純資産総額上位ファンドの更新が行われているようです。

6-6.知りたいことがある場合はどこに問い合わせればいいのか？

→当社では下記フリーダイヤルでお客様や販売会社様からのお問い合わせに対応しています。

0120-69-5432（通話料無料）

※受付時間：営業日の午前9:00～午後5:00

6-7.このファンドを購入して以来、どのくらいの損益額になっているのかが知りたい

→当社ではお客様のご購入時期や金額等の情報をもっておりません。上記フリーダイヤルにお問い合わせ頂いて期間等をご指定頂ければ、基準価額や税引前分配金再投資ベースの基準価額に基づく概算値ベースの収益率をお伝えすることは可能ですが、購入手数料や税金等を加味した正確な損益額については、お手数ですがご購入された販売会社様にお問い合わせください。

6-8.先月の市場動向、運用状況、今後の見通しが知りたい

→先月の市場動向、運用状況、今後の見通しについては、毎月第8営業日目を目処に発行しているスイスGLの月次レポートをご覧ください(夕方頃に当社HPに掲載されます)。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

…<https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0919/price.html>

スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)

…<https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0981/price.html>

月次運用レポート


 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント
基準日：2019年10月31日

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

ファンドマネージャーコメント

○先月の市場動向
 10月のスイス株式市場（SPI指数）は、0.85%（現地通貨ベース）の上昇となりました。
 月初は、ISM（米供給管理協会）製造業景況指数が2009年6月以来の低水準となり、米景気減速への懸念が強まったことや、欧州航空機大手へのEU（欧州連合）補助金を巡る問題で、米国の報復関税を課すことをWTO（世界貿易機関）が認める決定をしたことを受け、欧米の貿易摩擦が激化するとの見方が台頭したこと等から、主要国で株式市場が下落する中、スイス株式市場も売られました。しかしその後、9月分の米雇用統計が概ね良好な内容となったことや、通商協議での米中歩み寄りへの期待が高まったこと等を好感し、主要国株式市場が反発する中、スイス株式市場も上昇に転じました。
 中旬に入ると、英国のEU離脱に向け、新たな離脱協定案合意への期待が高まった一方、スイス株式市場で時価総額最大のネスレが発表した第3四半期の売上伸びが前四半期よりも鈍化したことが嫌気され、同社株式が売られたこと等を受け、スイス株式市場は一進一退の展開となりました。
 下旬に入ると、10月分のユーロ圏のPMI（総合購買担当者指数）が僅かながらも改善したことや、米通商代表部が米中通商協議の第一段階の合意の結めで進展があったと声明を発表したこと等を好感し、スイス株式市場は再び上昇基調を辿りました。月末にかけても、トランプ大統領が、中国との貿易交渉合意署名が予定よりも早いペースで進んでいると述べたこと等を好感し、スイス株式市場はじりじりと値を上げ、史上最高値を更新しました。
 為替市場では対円、対ドルでスイスフランが上昇しました。

○先月の運用状況
 10月は、独照明機器大手オスラムの買収を巡る不透明感からMEMSマイクロ・インターフェイスの売上世界No.1のAMSを全売却しました。また、CO2排出削減コスト上昇に伴う業績圧迫懸念等からセメントの売上世界No.1のラファージュホールシムも全売却しました。一方、高級チョコレート・カカオの売上世界No.1のバリー・カレポーを組み入れました。チョコレートメーカー等に食品を提供するB to B（企業間取引）モデルを持つ同社は、今後売上・利益の拡大が期待されます。
 当ファンドの譲渡率は、スイス株式市場が上昇したこと等から+2.43%上昇しました。

○今後の見通し
 スイス企業の業績見通しは相対的に良好ですが、世界の政治・経済面では、引き続き不透明感が漂っています。こうした環境下では、ディフェンシブ色の強い銘柄が相対的にアウトパフォームする傾向があります。このため、我々は、世界的に不透明感が続く中で、底堅い業績が見込まれるディフェンシブ色の強い銘柄に比重を傾けたポートフォリオを継続しています。
 特定の分野で世界No.1のスイス企業の中長期的な潜在成長力、業績やバリュエーション等を考慮すると、中長期的には株価の上値余地は大きいと判断しています。引き続き、各国の中央銀行の金融政策や、各国のマクロ経済動向には注視しつつ、個別企業のボトムアップ分析に注力し運用を行います。

（運用委託先からの情報を基に損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが作成）

月初第8営業日目を目処に発行される月次レポートの3ページ目に掲載されています。

6-9.過去に発行されたスイス関連のマーケットレポートが見たい

→過去に発行されたマーケットレポートは当社HPから見る事が出来ます。

・・・[当社HP]→(各ファンドページ)→[関連情報]または[関連バックナンバー]
(またはPDFファイルにおいて、下記レポート名をクリックしてください)

- 2011年09月07日 ... [スイス国立銀行フラン高抑制のため為替市場への無制限介入を発表](#)
- 2012年04月06日 ... [スイスフランが中央銀行の目標水準を一時的に超える](#)
- 2017年04月04日 ... [改善傾向を強めるスイス製造業のマインド](#)
- 2017年04月07日 ... [低水準にとどまるスイスの消費者物価](#)
- 2017年04月19日 ... [改善を続けるスイス中小企業の輸出マインド](#)
- 2017年04月26日 ... [貿易量の拡大で改善が期待されるスイス企業の業績](#)
- 2017年05月01日 ... [膨張を続けるスイス国立銀行のバランスシート](#)
- 2017年05月10日 ... [アノマリーから見たスイスの株式市場](#)
- 2017年05月19日 ... [高水準を維持するスイスの一人当たりGDP](#)
- 2017年05月25日 ... [拡大を続けるスイスのバイオテクノロジー産業](#)
- 2017年05月30日 ... [首位を維持するスイスの人口当たり特許出願件数](#)
- 2017年06月01日 ... [様々な動きが見られた1-5月のスイスの株式市場](#)
- 2017年06月09日 ... [欧州からシフトするスイス企業の輸出先](#)
- 2017年06月15日 ... [健全なスイスの財政状況](#)
- 2017年06月21日 ... [イノベーションランキングで首位を維持したスイス](#)
- 2017年06月28日 ... [際立つスイスの人口当たり国際登録商標出願件数](#)
- 2017年07月26日 ... [高水準を維持するスイスの人口当たりICTスペシャリスト数](#)
- 2017年08月08日 ... [イノベーション・インディケータで首位を維持したスイス](#)
- 2017年08月15日 ... [ユーロ高の恩恵が期待されるスイス株式](#)
- 2017年09月04日 ... [高水準で推移するスイスの一人当たり輸出額](#)
- 2017年09月22日 ... [トップとなったスイスの知財収支対GDP比](#)
- 2017年10月03日 ... [様々な動きが見られた6-9月のスイスの株式市場](#)
- 2017年10月11日 ... [国際競争力で9年連続首位を維持したスイス](#)
- 2017年10月25日 ... [競争力強化への取り組みを続けるスイスの中小企業](#)
- 2017年11月15日 ... [人材の質の高さで3位を維持したスイス](#)
- 2017年11月28日 ... [3位に上昇したスイスのICT開発指数](#)
- 2017年12月13日 ... [世界人材ランキングで首位を維持したスイス](#)
- 2017年12月26日 ... [拡大を続けるスイス企業の海外子会社の従業員数](#)
- 2018年01月09日 ... [様々な動きが見られた2017年10-12月のスイス株式市場](#)
- 2018年01月16日 ... [アノマリーから見た2018年のスイスの株式市場](#)
- 2018年01月30日 ... [人材競争力で首位となったスイスとチューリッヒ](#)
- 2018年02月07日 ... [2位に躍進したスイスのグローバル化指数](#)
- 2018年03月06日 ... [大幅に改善した2017年のスイス連邦政府の財政収支](#)
- 2018年03月08日 ... [米国株との相関から見て割安なスイス株](#)
- 2018年04月03日 ... [様々な動きが見られた1-3月のスイス株式市場](#)
- 2018年04月09日 ... [アノマリーから見て上昇が期待される4月のスイス株式](#)
- 2018年05月23日 ... [一段と拡大するスイスのバイオテクノロジー産業](#)
- 2018年06月19日 ... [年後半の見直し買いが期待されるスイス株式](#)
- 2018年06月28日 ... [中長期で堅調な推移を続けるスイスフラン](#)
- 2018年07月04日 ... [海外展開に積極的なスイスの主要企業](#)
- 2018年07月17日 ... [イノベーションランキングで8年連続で首位となったスイス](#)
- 2018年09月07日 ... [再び改善傾向にあるスイスの製造業マインド](#)
- 2018年10月03日 ... [業務提携や経営資源の集中に積極的なスイス企業](#)
- 2018年11月27日 ... [世界人材ランキングで5年連続で首位を維持したスイス](#)
- 2018年12月20日 ... [一段と拡大したスイス企業の海外子会社従業員数](#)
- 2019年01月10日 ... [設備投資や経営資源の集中に積極的なスイス企業](#)
- 2019年01月25日 ... [6年連続で首位となったスイスの人材競争力](#)
- 2019年02月21日 ... [一段と増加したスイス連邦政府の財政黒字](#)
- 2019年03月22日 ... [首位を維持したスイスの人口当たり特許出願件数](#)
- 2019年04月02日 ... [買収や提携などに積極的なスイス企業](#)
- 2019年05月14日 ... [拡大を続けるスイスのバイオテクノロジー産業](#)
- 2019年06月13日 ... [際立つスイスのAI研究者のグローバル人材率](#)
- 2019年07月04日 ... [買収に積極的で大型案件にも恵まれたスイス企業](#)
- 2019年09月19日 ... [対応力の高さで首位となったスイス](#)
- 2019年10月03日 ... [買収に積極的で構造解釈にも成功したスイス企業](#)

6-10.過去に発行されたスイスGLのファンドレポートが見たい

→過去に発行されたファンドレポートは当社HPから見る事が出来ます。

・・・[当社HP]→(各ファンドページ)→[関連情報]または[関連バックナンバー]
(またはPDFファイルにおいて、下記のレポート名をクリックしてください)

- 2014年12月19日 ... [スイス国立銀行 フラン高抑制のためにマイナス金利の導入を発表](#)
- 2015年01月16日 ... [スイス国立銀行、ユーロに対するスイスフランの上限撤廃・政策金利の引き下げ後の市場動向](#)
- 2015年01月19日 ... [基準価額の下落について](#)
- 2015年06月30日 ... [ギリシャ問題を受けた29日の市況とスイス株式市場の見通し](#)
- 2015年08月26日 ... [基準価額の下落について](#)
- 2015年09月25日 ... [基準価額の下落について](#)
- 2016年06月27日 ... [英国のEU（欧州連合）離脱による影響と今後の見通しについて](#)
- 2017年06月06日 ... [足元のスイス株式市場の投資環境について](#)
- 2017年12月01日 ... [足元の運用状況について 「スイス・グローバル・リーダー・ファンド」](#)
[足元の運用状況について 「スイス・グローバル・リーダー・ファンド\(為替ヘッジあり\)」](#)
- 2018年07月25日 ... [先進国スイスへの投資で新興国の高成長からの恩恵享受を期待](#)

6-11.スイスGLの紹介動画が見たい

→スイスGLの紹介動画は当社HPから見る事が出来ます。

・・・[当社HP]→(右下あたりにある下のバナーをクリック)



(またはPDFファイルにおいて、上記バナーをクリックしてください)



ファンドの主なリスクと留意点

《基準価額の変動要因》 くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)にて必ずご確認ください。

ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属いたします。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆価格変動リスク

株式の価格は、国内外の政治・経済情勢、市況等の影響を受けて変動します。組入れている株式の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆信用リスク

株式の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている株式の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また発行体の倒産や債務不履行等の場合は、株式の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆流動性リスク

国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆為替変動リスク

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)

当ファンドは原則として、外貨建資産に対して、為替ヘッジを行いますが、全ての為替変動リスクを排除できるものではありません。また円金利よりも金利水準の高い通貨の為替ヘッジを行った場合、金利差に相当するヘッジコストが発生し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆銘柄集中投資のリスク

ファンドの投資対象には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

《その他の留意点》

◆クーリングオフ制度(金融商品取引法第37条の6)の適用はありません。

◆収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

◆マザーファンドに投資する別のベビーファンドの追加設定・解約等により、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、ファンドの基準価額が影響を受ける場合があります。

一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対するエクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、35%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込不可日	スイス証券取引所の休業日においては、お申込みの受付ができません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
信託期間	2021年6月4日まで（設定日「スイス・グローバル・リーダー・ファンド」：2011年7月29日／「スイス・グローバル・リーダー・ファンド（為替ヘッジあり）」：2016年12月21日） ※委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。
繰上償還	受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることがあります。
決算日	原則3月、6月、9月、12月の各4日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時（年4回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。 ※分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

その他の項目につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お客さまにご負担いただく手数料等について

購入時手数料	購入価額に 3.78%*（税抜3.5%） を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 *消費税率が10%になった場合は、3.85%となります。 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% を乗じた額です。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.8144%*（税抜1.68%） を乗じた額です。 運用管理費用（信託報酬）は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。 *消費税率が10%になった場合は、1.848%となります。
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 ・ 監査費用 ・ 売買委託手数料 ・ 外国における資産の保管等に要する費用 ・ 信託財産に関する租税 等 ※上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

■当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの委託会社およびその他の関係法人の概況

委託会社	損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者（登録番号：関東財務局長（金商）第351号）であり、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。信託財産の運用指図等を行います。 電話：0120-69-5432（受付時間：営業日の午前9時から午後5時） ホームページ・アドレス： https://www.sjnk-am.co.jp/
受託会社	みずほ信託銀行株式会社（再信託受託会社：資産管理サービス信託銀行株式会社） 信託財産の保管等を行います。なお、信託事務の一部につき資産管理サービス信託銀行に委託することができます。
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。投資信託説明書（交付目論見書）の提供は、販売会社において行います。

※MSCIの各指数は、MSCIが開発し、算出している株式指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCIに帰属します。

※TOPIX(東証株価指数)は東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

※欧州STOXX600指数はSTOXXが公表している指数です。同指数に関する知的財産権その他一切の権利はSTOXXに帰属します。

※S&P Global REIT USD Total Return Indexは、S&P Globalの一部門であるS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが発表している指数です。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&PグローバルREIT指数の適格性、正確性、適時性、完全性、データの遅延、及び電子媒体を含む口頭または書面でのコミュニケーションについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、障害、債務、誤り、欠落又は遅延に対する責任を負いません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、特定の目的、使用、もしくは損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社が得るであろう結果への商品適格性、もしくは適切性の保障に関して、明示的にも暗示的にも保証しません。以上のことに関わらず、いかなる場合においても、間接的、特定の、偶発的、罰則的、あるいは結果的な損害(利益の損失、トレーディング損失、損失時間、のれんを含む)について、仮にそれらの可能性について事前に通知されていたとしても、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが責任を負うことはありません。

※「S&P」は、S&P Globalの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズLLC(以下「S&P」)の登録商標です。これらはS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに対して使用許諾が与えられています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、ダウ・ジョーンズ、S&P、その関連会社は、本商品を支持、推奨、販売、販売促進するものではなく、また本商品への投資適合性についていかなる表明をするものではありません。

※FTSE NAREIT Equity REITs Total Return Index USDは米FTSE社、NAREIT(National Association of Real Estate Investment Trusts: 全米不動産投資信託協会)が提供する外国不動産インデックス(米国不動産指数)です。同指数は同社の知的財産であり、指数に関するすべての権利は同社が有しています。

※東証REITは東京証券取引所に上場している不動産投資信託証券全銘柄を対象として算出した指数です。同指数に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

※FTSE Non-JPY WGBI LCL、FTSE Australia GBI LCLはFTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※BPI Total Indexは、野村證券が公表している、日本の公募債券流通市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づき構成されたポートフォリオのパフォーマンスをもとに計算されます。野村BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

※ICE BofAML・USハイイールド・マスターII・コンストレインド・インデックス及びICE BofAMLヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックスは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(「ICE Data」)及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data 及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

※JPEルガン・アジア・クレジット・インデックスはJP モルガン・セキュリティーズ・インクが公表しているインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

当資料は損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社（以下、弊社）により作成された情報提供資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なりリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本、分配金の保証はありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。当資料に記載された意見等は予告なしに変更する場合があります。また、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。投資信託の設定・運用は委託会社が行います。お申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、詳細をご確認の上、お客さま自身でご判断ください。なお、お客さまへの投資信託説明書（交付目論見書）の提供は、販売会社において行います。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド

■ 販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

2019年11月1日 現在

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会	備考
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○		
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○		○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○	
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○				
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○		
三木証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第172号	○				
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○			
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○		○	
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○				
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○				
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○	
光証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第30号	○	○			
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○				
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○				
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	
株式会社三菱UFJ銀行（委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○		○	○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○				

スイス・グローバル・リーダー・ファンド（為替ヘッジあり）

■ 販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

2019年11月1日 現在

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会	備考
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○		○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○				
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○				

<備考欄の表示について>

- ※ 1 記載の日付より新規お取扱いを開始します。
- ※ 2 記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。
- ※ 3 新規のお取扱いを行っていません。

<ご留意事項>

- ・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。
- ・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。
- ・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。